

子育て短期支援事業 事故報告様式

平成 年 月 日 / 第 報

実施自治体名			事業種別	ショートステイ ・ トワイライトステイ
事故が発生した事業種別			直営・委託の別	
実施施設名			実施施設の所在地	
設置主体			運営主体	
開設(認可)年月日			代表者名	
実施施設職員	名	うちショートステイ従事者	保育士 児童指導員	名 名
うちトワイライトステイ従事者	保育士 児童指導員	名 名	里親等への再委託の有無	有 ・ 無
事故対応マニュアルの状況	有 ・ 無		事故予防に関する研修の直近の実施日	
事故発生日時			時 分頃	
子どもの年齢・性別	歳 か月 児	事業利用開始年月日～事業利用終了(予定)年月日	平成 年 月 日～平成 年 月 日	
病状・死因等(既往症)	既往症：		病院名	
発生時の体制	児童 名	事業従事者 里親等へ再委託している場合は、里親等。	児童指導員 名	
発生場所				
発見時の子どもの様子				
発生状況	時間	内 容		
(当日の健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。なお、第1報においては、可能な範囲で記入。)				
当該事故に特徴的な事項				
発生後の対応(報道発表を行う(行った)場合にはその予定(実績)を含む。)				

- 1 第1報は水色着色部分について報告してください。
- 2 第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。
- 3 発生状況欄は適宜広げて記載してください。
- 4 直近の指導監査の状況報告を添付してください。
- 5 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

【データベース掲載用】

事故の概要

個人情報に配慮の上、事故の背景が見えるように概要を記載してください。

事故発生の要因分析

要因	分析	再発防止のための改善策
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)		
ハード面 (施設、設備等)		
環境面 (預かり時の状況等)		
人的面 (担当職員の状況)		
その他		

事故発生の要因分析に係る自治体コメント

国に報告をする際に、施設・事業者の要因分析に加え、必要な事項等があれば記載してください。

事故報告様式送付先：厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室

(FAX：03-3595-2663)

消費者庁消費者安全課

(FAX：03-3507-9290)

子育て短期支援事業 事故報告様式（記載例）

平成 年 月 日 / 第 報

実施自治体名	県 市	事業種別	ショートステイ ・ トワイライトステイ
事故が発生した事業種別	ショートステイ	直営・委託の別	委託
実施施設名	園	実施施設の所在地	
設置主体	法人 会	運営主体	法人 会
開設(認可)年月日	昭和 年 月 日	代表者名	
実施施設職員	名	うちショートステイ従事者	保育士 名 児童指導員 名
うちトワイライトステイ従事者	保育士 名 児童指導員 名	里親等への再委託の有無	有 ・ (無)
事故対応マニュアルの状況	有 ・ (無)	事故予防に関する研修の直近の実施日	実施していない
事故発生日時	平成 年 月 日	15時30分頃	
子どもの年齢・性別	歳 か月 男児	事業利用開始年月日～事業利用終了予定年月日	平成 年 月 日～平成 年 月 日
病状・死因等(既往症)	骨折 既往症：なし	病院名	病院
発生時の体制	児童 名	事業従事者 里親等へ再委託している場合は、里親等。	児童指導員 名
発生場所	公園		
発見時の子どもの様子	公園の遊具で遊んでいる際に遊具(うんてい)から落下。手を強打した。		
発生状況	時間	内 容	
(当日の健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。なお、第1報においては、可能な範囲で記入。)	10:30	実施施設において預かりを開始	
	11:00	子どもが外に出たいというので近所の公園に連れて行く。	
	11:15	児童指導員が少し目を離していた際に、遊具(うんてい)の上に登り落下。地面に手をついた際、痛みを訴える。	
	11:30	実施施設長に報告するとともに、子どもを病院に連れて行き、レントゲン検査を受けさせたところ、手首を骨折していた。全治 ヶ月。	
	11:45	医師より帰宅しても問題はない旨の説明があり、そのまま施設での預かりを再開する。	
当該事故に特徴的な事項			
発生後の対応(報道発表を行う(行った)場合にはその予定(実績)を含む。)	・翌日11時～市が事故報告の記者会見実施予定(別紙公表資料参照) ・翌日17時～市町村において保護者への説明会を実施予定		

- 1 第1報は水色着色部分について報告してください。
- 2 第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。
- 3 発生状況欄は適宜広げて記載してください。
- 4 直近の指導監査の状況報告を添付してください。
- 5 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

【データベース掲載用】

事故の概要	
10:30	実施施設において預かりを開始
11:00	子どもが外に出たいというので近所の公園に連れて行く
11:15	児童指導員が少し目を離していた際に、遊具(うんてい)の上に上り落下。地面に手をついた際、痛みを訴える。
11:30	実施施設長に報告するとともに、子どもを病院に連れて行き、レントゲン検査を受けさせたところ、手首を骨折していた。全治 か月。
11:45	医師より帰宅しても問題はない旨の説明があり、そのまま施設での預かりを再開する。
年 月 日 完治。	

個人情報に配慮の上、事故の背景が見えるように概要を記載してください。

事故発生の要因分析

要因	分析	再発防止のための改善策
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)	・事故防止マニュアルの整備ができていなかった。	・事故防止マニュアルを整備し、実施施設の職員に研修を実施し周知を行う。
ハード面 (施設、設備等)	・事故発生時は公園に行っていた。	・やむを得ず実施施設内以外の場所で子どもを預かる場合、十分注意するよう施設内研修で実施施設の職員に再度周知した。
環境面 (預かり時の状況等)	・子どもが負傷した際、児童指導員が目を離してしまっていた上、子どもが誤った使用方法で遊具を使い、事故が発生した。	・実施施設の職員に対し、子どもから目を離さないよう伝えるとともに、施設内研修において、遊具等の正しい利用について注意喚起を行った。
人的面 (担当職員の状況)	・実施施設の職員は、これまで、他の児童を預かった際には、公園で時々遊ばせることがあり、慣れていた。	・慣れていたとしても、突発的に子どもが予測できない行動を取ることがあるため、実施施設の職員に注意喚起を行った。
その他	・事故が起こった後に、事実関係の記録が行われていなかった。	・事故が起きた場合には、記憶が鮮明なうちにその経過を早期に把握し、特定の記録者が管理、時系列でわかるように整理する。

事故発生の要因分析に係る自治体コメント

身近な事故に対する防止マニュアルを整備してこなかったことから、今回の事件を受けて、事故防止マニュアルの作成をし、市内の子育て短期支援事業実施施設に配布する。
--

国に報告をする際に、施設・事業者の要因分析に加え、必要な事項等があれば記載してください。

事故報告様式送付先：厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室

(F A X : 0 3 - 3 5 9 5 - 2 6 6 3)

消費者庁消費者安全課

(F A X : 0 3 - 3 5 0 7 - 9 2 9 0)